

# 第2次白石町食育推進計画

食で育む心豊かなまち“しろいし”



白 石 町

平成 2 7 年 3 月

## 目 次

第1章	第2次食育推進計画策定にあたって	
	1 計画策定の趣旨	1
	2 計画の位置づけ	2
	3 計画の期間	2
第2章	白石町の現状と課題	
	1 白石町の現状	3
	2 各食育の場における取組みの現状と課題	5
第3章	食育推進の基本方針と体制	
	1 基本方針	8
	2 基本目標	8
	3 食育推進の体制	9
第4章	食育推進の取組み	
	1 ライフステージに応じた食育の推進	10
	2 各食育の場における食育の推進	12
	3 生涯にわたるライフステージに応じた具体的な取組み	14
	4 計画指標の現状値と目標値	16
(付属資料)		
	・白石町食育推進計画策定に係るアンケート集計結果	18
	・計画策定までの経過	22
	・白石町食育推進会議委員名簿	23

# 第1章 第2次食育推進計画策定にあたって

## 1 計画策定の趣旨

長い人生を生き生きと心豊かに明るく過ごすには「健康」が第一であり、その命の源は「食」にあります。

食育は、身体健康維持や成長とともに、人と人との交流をとおして心の豊かさを育むなど、私たちの心と身体両面から健全な発達に深くかかわっています。

また、地域の特性を生かした食生活を実施し地域産業への理解を深めるなど、食を通じて地域の活性化を促進する役割も担っています。

近年、高齢者世帯や単身世帯、共働きの増加などといった社会構造の変化やライフスタイル、価値観の多様化などにより、「食」を取り巻く環境は大きく変化し、それに伴い様々な問題が顕在化しています。

白石町においては、平成22年9月に「白石町食育推進計画」を策定し、しろいし食育まつり、農漁業体験教室、普及啓発等の実施を通じ、家庭、保育園・幼稚園や学校、地域、関係団体などと連携しながら、食育を推進してきました。

こうした取り組みにより、健康を意識して食事をすることや郷土料理の認識など町民の食育に対する関心は徐々に高まってきています。

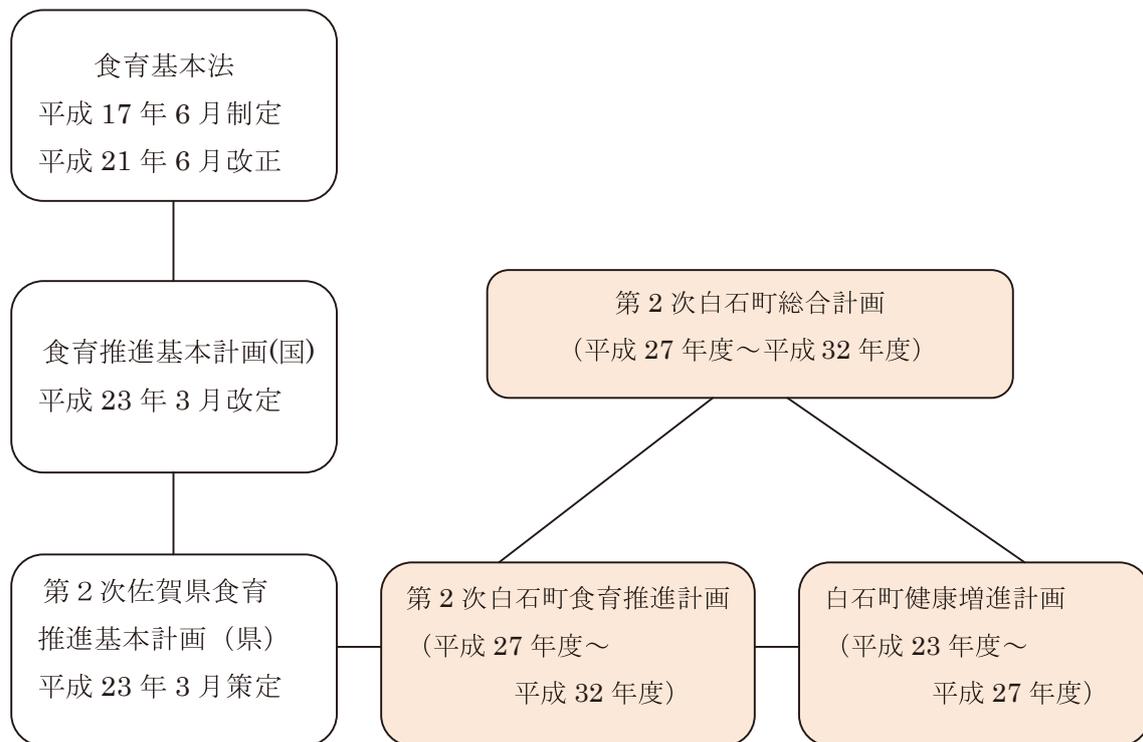
一方、保育園・幼稚園や学校ではできている「いただきます」のあいさつが必ずしも家庭内ではできていません。また、バランスのとれた食事がとれていないなど、食育への関心や理解が日々の実践には十分結びついていない状況がみられます。

そのため、今後食育の実践をなお一層促進していくことが必要とされます。

第1次食育推進計画期間の終了に伴い、基本方針は引き継ぎながら、これまで築きあげた食育推進の輪を基礎として更なる連携・協働を強化し、間断のない生涯を通じた食育推進の実践のため「第2次白石町食育推進計画」を策定するものです。

## 2 計画の位置づけ

本計画は、食育基本法の目的・基本理念を踏まえ、同法第18条第1項に基づく市町村食育推進計画と位置づけられるもので、国及び県の食育推進基本計画、さらには第2次白石町総合計画をはじめとする本町の他の計画と整合性を図りつつ、町の食育を推進する上で基本的な指針とするものです。



## 3 計画の期間

本計画の期間は平成27年度を初年度とし、平成32年度を目標年度とする6年間とします。

## 第2章 白石町の現状と課題

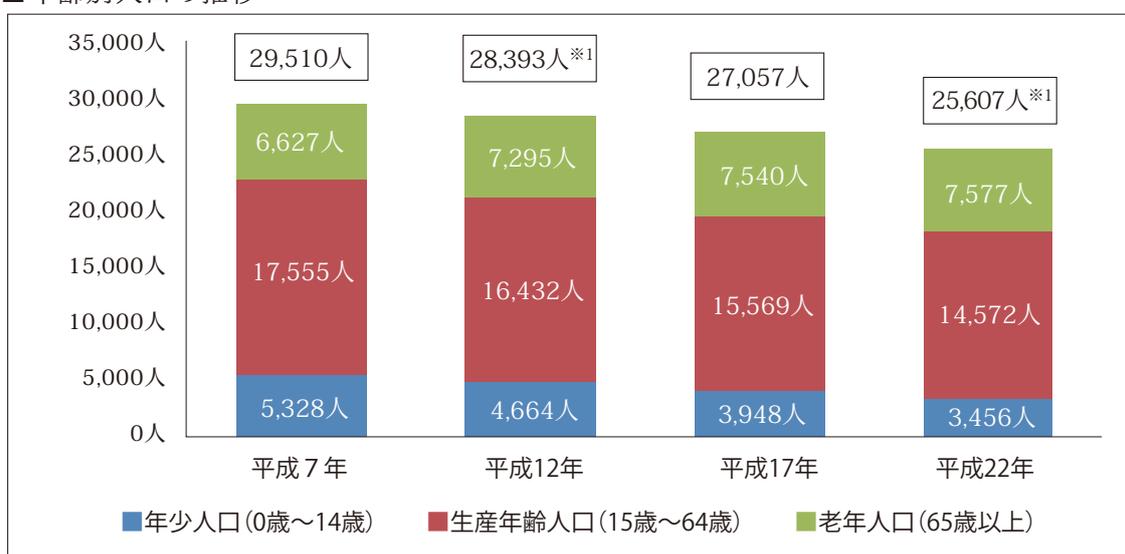
### 1 白石町の現状

#### (1)人口・世帯の推移

白石町の人口は減少しています。65歳以上の老年人口は年々増加し、年少人口、生産年齢人口が減少しており、少子高齢化が進んでいます。

平成2年と平成22年を比較すると、共働き家庭の割合は4.2%減少、三世帯同居の割合は10.6%減少しています。

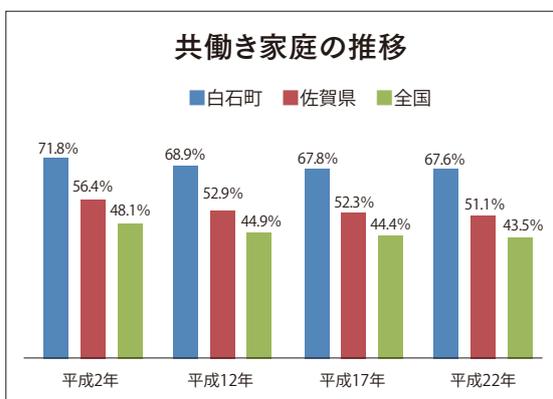
#### ■年齢別人口の推移



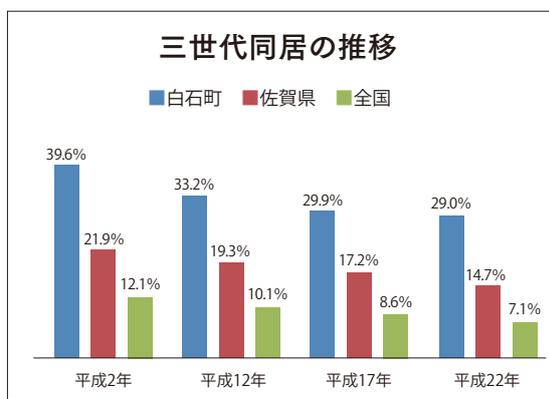
※1 総数には「不詳」を含むため、内訳を合計しても総数に一致しない。

(資料:国勢調査)

#### ■共働き家庭と三世帯同居率の推移



(資料:国勢調査)



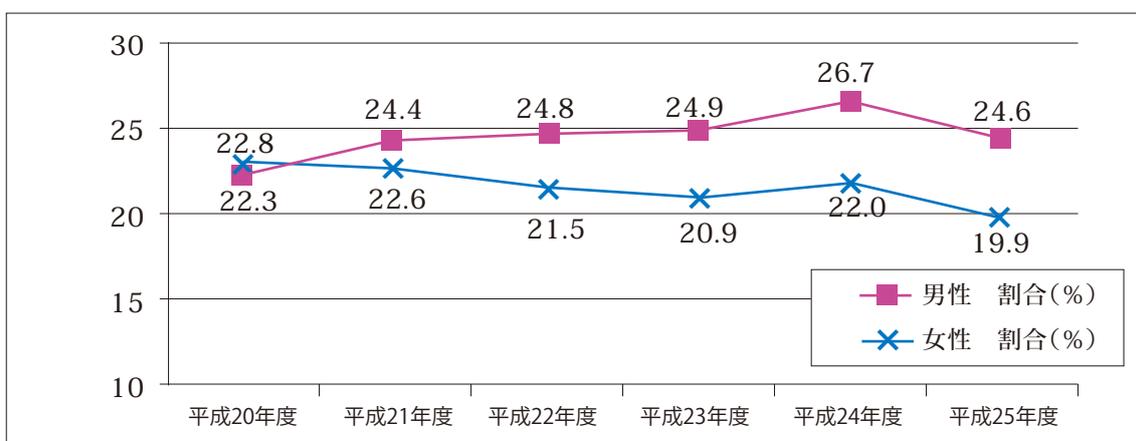
(資料:国勢調査)

## (2) 健康の状況

特定健診の結果から、BMI※<sup>1</sup>25以上の者の割合は、平成20年度から平成25年度の5年間で女性は減少傾向、男性は増加傾向にありましたが平成25年度は減少しています。

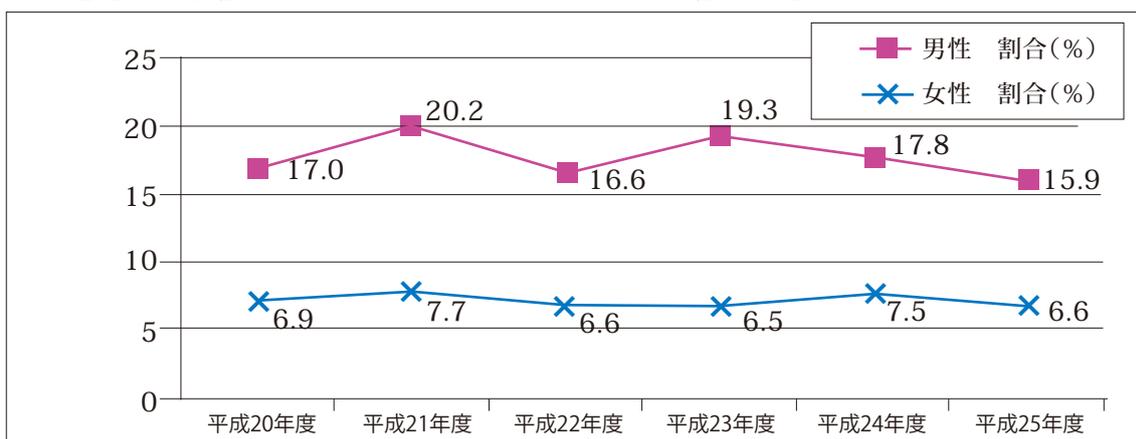
また、メタボリックシンドローム※<sup>2</sup>該当者は、女性は横ばいで推移しています。男性は平成23年度からは減少傾向にありますが、女性と比較して2倍以上多い状況です。

■ 特定健診受診者におけるBMI25以上の者の状況



(資料: 白石町国民健康保険特定健診結果)

■ 特定健診受診者におけるメタボリックシンドローム該当者の状況



(資料: 白石町国民健康保険特定健診結果)

※1 BMIとは、体格を示す指数のことで、 $BMI = \text{体重 (kg)} \times \text{身長 (m)} \div \text{身長 (m)}$ で求められます。BMIが18.5以上25未満は適正体重、25以上は肥満、18.5未満はやせに分類されます。

※2 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)とは、内臓脂肪の蓄積をベースに高血圧、高血糖、脂質異常などの動脈硬化の危険因子を2つ以上もつ状態のことをいいます。

## 2 各食育の場における取組みの現状と課題

### (1) 白石町における取組みの現状と課題

保健福祉分野では、乳幼児期の健診での離乳食相談のほか、食生活改善推進協議会の協力のもと、幼児食育教室やおやこ食育教室、生活習慣病予防教室で生活習慣病予防・改善につながる取組みを展開しています。イベントを通じた食育では、平成24年度に、しろいし食育まつりを開催し、特に子育て世代への食育の重要性を啓発しました。平成25年度には、ぺったんこ祭で食育ブースを設置し、食生活改善推進員と共に野菜摂取量の増と減塩推進の取組みとして「野菜たっぷりのみそ汁」を提供しました。

農林漁業分野、教育分野では、地域の生産者の方の協力のもと、子ども達への農漁業体験学習をさせることができました。

食育推進は各関係団体の連携・協働が欠かせません。町として食育推進の輪がより広がり強固なものとなるよう環境づくりをしていく必要があります。



(しろいし食育まつり)



(幼児食育教室)

### (2) 家庭・地域における取組の現状と課題

幼児のアンケートの結果から、家庭で、食前食後のあいさつをしている幼児は64%であり、家庭での声かけが必要です。そのためには、大人と一緒に食卓を囲み、食事の楽しさや、基本的なマナーを繰り返し教えていくことが重要です。

成人のアンケートの結果から、健康を意識した食生活を送っている人は7割を超えていますが、朝食をほとんど食べない人が1割、「主食・主菜・副菜」をそろえた食事を毎食食べている人は4割に満たない状況にあり、町民が規則正しい食習慣を身につけられるよう、より一層支援していく必要があります。

### (3) 保育園・幼稚園における取組みの現状と課題

各保育園・幼稚園では、毎年、食育計画に基づき食に関する教育・保育が行われています。野菜の栽培などをおして食べ物への興味を育て、それが、苦手克服にもつながっています。また、規則正しい生活習慣を身につけるため、「早ね、早起き、朝ごはん」の大切さを繰り返し伝えていきます。朝ごはんは、9割強の幼児が毎日食べていますが、主食だけ、主食と飲み物だけといった食事が多く、食事内容の充実を図る必要があります。

食事のマナーについては、保育園・幼稚園では毎日の給食で声かけをしており、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつを必ずしていますが、家庭ではできていない場合があります。朝食摂取、マナーの習得には家庭での実践が必要不可欠であり、家庭と連携した食育を展開していくことが課題です。



(芋ほり体験)



(クッキング体験)

### (4) 学校における取組みの現状と課題

各小・中学校では、毎年、食育年間指導計画に基づき食に関する指導が行われています。特に「早ね、早起き、朝ごはん」を推奨されており、朝ごはんを毎日食べてくる子どもは、9割を超えています。しかし、主食だけ、主食と飲み物だけといった食事が多く、食事内容の充実を図るような取組みが課題です。

学校食育推進事業として、小学生ではおやこ食育教室のほか、蓮根収穫体験や酪農体験などを行っています。また、中学生にはスポーツ料理教室、郷土料理教室での須古寿司作り体験が行われています。白石中学校では食の自立に向けて「マイ弁当の日」の設定や、朝食クッキングコンテストを実施し、メニューの考案、子ども達が調理などをする取組みをしています。このような体験をおして、感謝の心や、自分で健康的な食事を作ったり選んだりする力が身につきます。

さらに、核家族化が進むなかで、地域の伝統料理に接する機会が少なくなっています。このようなことから、食の体験学習は、今後も推進していく必要があります。

学校給食においては、栄養のバランスのとれた食事や食事のマナーなどの習得、仲間と食事をする楽しさを子ども達に体感させています。地産地消の取り組みでは、平成22年4月より、白石町産の米を使用した完全米飯給食を実施しています。また、毎月19日を「しろいし食の日」として、白石産の食材を使った給食を提供し、給食時間の放送などで紹介をしています。



(おやこ食育教室)



(蓮根収穫体験)

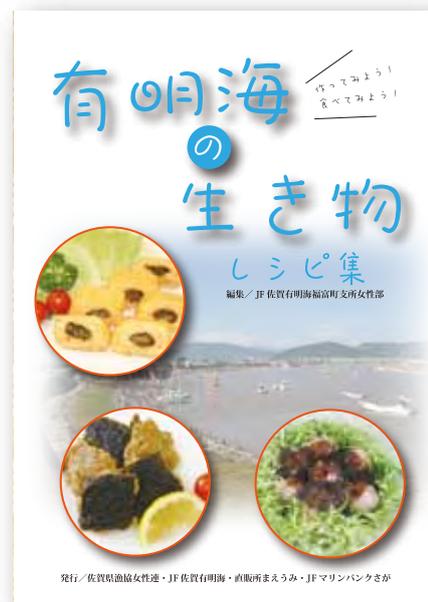
#### (5) 食品関連事業者・生産者・その他関連施設等における取組の現状と課題

町内直売所等の食品関連事業者では、消費者と生産者が交流できるイベントを開催したり、特産品を使った加工品などの開発、販売をとおして、消費者が安全安心な食について知識を深める機会を作っています。

生産者等では、生産者や関係団体と行政が連携協力し、子ども達に農漁業体験や郷土料理教室を実施しています。また、地場産品を活用したレシピ集作りなどを行いました。

病院・社会福祉施設では、施設利用者には、行事食や郷土食の提供を行っています。

今後も、関係機関、関係団体と連携・協力を図りながら、さらなる食育の普及啓発に取り組んでいく必要があります。



「有明海の生き物レシピ集」  
(JF佐賀有明 福富支所女性部 作成)

## 第3章 食育推進の基本方針と体制

### 1 基本方針

町民一人ひとりが、「自分の食について考え、健康に配慮した食事を選択できる力」や「食べることへの感謝の気持ちと心豊かな食生活を営む力」を育み、生涯にわたる健やかな暮らしの実現を目指し、家庭、保育園・幼稚園、学校、関係団体、地域、行政の協働により、次の基本的な方針に基づき食育を推進します。

1. 食育は、家庭、保育園・幼稚園、学校、地域など、それぞれの視点において取り組んでいます。これらが、総合的に進められるよう関係者が相互に連携・協力しながら、町民運動として取り組みます。

2. 乳幼児から高齢者まですべての世代に対し、健康的な食生活を営むことができ、あらゆる機会を通じて食の関心が高められるように取り組みます。

3. 白石町は、野菜をはじめとする農畜産物の生産現場や有明海が身近にあり、生産者と消費者が交流しやすい環境にあります。豊かな自然の中で育った新鮮な地元の食材を家庭や給食に取り入れる「地産地消」に取り組みます。

### 2 基本目標

#### ①自然との関わりをもち、恵みに感謝し命と食べ物を大切にします

- ・「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをします
- ・家族が食卓を囲み、食事の楽しさ、マナーなどを学びます

#### ②心と体の健康を育むため、健全な食生活を実践します

- ・早ね早起きをして朝ごはんを食べます
- ・健康的なバランスのとれた食事を選ぶ力を身につけます

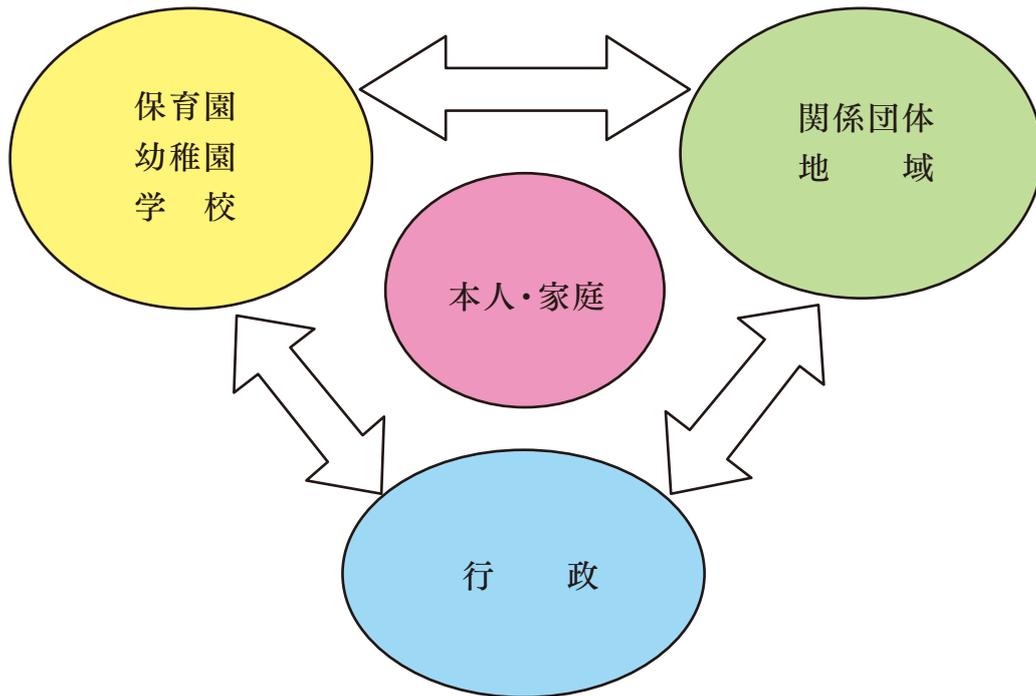
#### ③豊かな食の恵や食文化を知り、地産地消に取り組みます

- ・白石町の食や農漁業、自然環境等を知り、地産地消に取り組みます
- ・家庭や地域で一緒に食事を作ったり、食事をすることで、調理技術や味を次世代に伝えます

### 3 食育推進の体制

計画の推進は、町民一人ひとりが「食」に関心を持ち、積極的に「食育」を実践することが必要です。推進するためには、保育園・幼稚園、学校、関係団体※1、地域、行政等、様々な組織がそれぞれの役割に応じて活動していきます。

また、教育・保育分野、健康・福祉分野、農林漁業分野が連携し、計画的な食育の推進を図り、進捗状況の検証や評価などを行います。



※1 関係団体とは、農林漁業者、食品関係事業者、ボランティア団体、教育関係者、企業（事業所）、保健関係者のことをいいます。

## 第4章 食育推進の取組み

### 1 ライフステージに応じた食育の推進

#### (1) 妊娠・乳幼児期【0～6歳】

妊娠・授乳期は、赤ちゃんの発育に必要な栄養が、母親の胎盤や母乳を通じて取り入れられ、母親の食生活や食習慣が子どもの成長に大きく影響します。そのため、母親が正しい食生活を営む事が大切です。

乳幼児期は、心身の発達が最も著しい時期であるとともに、食生活の基本となる味覚が形成され、生活習慣の基本を身につける重要な時期です。

そのため、乳幼児の健診や健康相談、家庭、保育園・幼稚園など様々な食育の場を利用し、十分な睡眠の確保や食事のリズム、食べ方などの食習慣の基礎に加え、家族揃っての食事等、ふれあいをとおして食に関心をもって、食べることの楽しみを身につけられるよう働きかける必要があります。

#### (2) 学童・思春期【7～18歳】

学童期・思春期は心身の成長発達が著しく、乳幼児期に引き続き健全な生活リズムを身につけ、習慣化するとともに、多くの体験をとおして自立につながる力を育む時期です。また、外食や中食<sup>※1</sup>の機会も増えるため自分に合った食事を自分で選ぶ力を身につけさせることも大切です。

そのため、家族と楽しく食卓を囲むことや学校給食、農漁業体験などの様々な体験をとおして、食生活の大切さや、食に関する知識を深め、感謝の心や望ましい食習慣を身につけられるよう配慮することが大切です。

※1 中食とは、家庭外で調理された食品（総菜、仕出し弁当など）を購入して持ち帰ったり届けてもらうなどして、家庭内で食べる食事の形態のこと。



### (3) 青年・壮年期【19～64歳】

結婚・出産・育児など、生活が大きく変化したり、仕事や地域社会での役割など、職場や家庭の中心となって生活する時期となります。忙しい生活のなかで、欠食や外食の増加など食習慣が乱れやすく、心身のストレスの増加などから生活習慣病などが発症しやすい時期でもあります。また、家庭においては子ども達に食事マナーや食に関する知識を伝え、家族団らんや地域と触れ合う場を作る役割を担っています。

そのため、家族団らんを心がけることや、健康的な生活習慣を維持するよう、定期的な健康診査の受診で疾病の早期発見・早期治療を行うとともに、その結果に対処できる生活習慣や食習慣を身につけることも大切です。



### (4) 高齢期【65歳～】

家庭や社会での責任や負担が軽減され、時間的にもゆとりが出てくる時期です。また、加齢に伴い身体機能も低下し、長年の生活習慣の積み重ねにより様々な疾病も徐々に表れてくる時期でもあります。

そのため、自分の体の変化や体調を知ったうえでの食生活など、自らの健康管理に努めるとともに、昔から伝わる食文化や長い人生経験のなかで習得したことを活用し、家庭・地域・学校等で次の世代に伝えていく役割が期待されます。

## 2 各食育の場における食育の推進

### (1) 家庭における食育の推進

家庭は、食生活の基本であり、望ましい食生活の実践や、食に関する知識・マナーの習得、子どもの心身の健全な育成を図るという重要な役割を担っており、乳幼児期から高齢期まで、ライフステージに応じた食育を継続することが大切です。

特に、子ども達に対して「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつなど食への感謝の心をもつことや、箸の持ち方などのマナー、食事の楽しさなどを家族で食卓を囲むことで伝えていくことが必要です。また、様々な食育の取組みに積極的に参加し、体験をとおして食育を実践させることが求められます。



### (2) 保育園・幼稚園における食育の推進

乳幼児期は、食の嗜好が身につく重要な時期であり、食べ物や生き物に対する興味をもつ感性豊かな時期です。園での食事や料理体験、農業体験等をとおして基本的なマナーを身につけ、食べ物や生産者、食事を作ってくれる人などへの感謝の心を育むことが必要です。

子どもが規則正しい生活習慣を身につけるために、集団生活での様々な体験や学習のほか、家庭と連携した食育を行っていく必要があります。

### (3) 学校における食育の推進

成長期にある児童・生徒にとって、食育は将来の食習慣の形成に大きな影響をおよぼすもので極めて重要です。自分の心と体を守るための食育ができるように教育する場である学校においては、食に関する理解を深め、食に関するマナーが向上するように、学校給食を介してさらなる食育指導の充実を図るとともに、家庭においても健全な食習慣の定着が図られるよう、学校では各種行事や給食だよりを通じて積極的に家庭と連携していく必要があります。

#### (4) 地域・関係団体における食育の推進

地域・関係団体はそれぞれの組織の目的や役割に応じた食育の取組みを進めます。また、保育園・幼稚園、学校、行政などの食育活動へ協力することが求められます。

#### (5) 行政における食育の推進

白石町は、目指すべき方向に向けて、教育・保育、健康・福祉、農林漁業の各分野における取組みを総合的に推進するため、食のネットワークづくりを行います。また、6月・11月を「食育強化月間」、毎月19日を「しろいし食育の日」と定め、乳幼児期から高齢期までライフステージに応じた食育を計画的に推進します。



(平成24年度 しろいし食育まつり)

### 3 生涯にわたるライフステージに応じた具体的な取組み

【基本目標】 ① 自然との関わりをもち、恵みに感謝し命と食べ物を大切にします

		本人・家庭の取組み	保育園・幼稚園・学校の取組み
妊娠期・乳幼児期	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をします</li> <li>・基本的な食事のマナーを身につけます</li> <li>・食事の時は、テレビを消して家族みんなで食卓を囲み会話を楽しみます</li> <li>・町や保育園・幼稚園の取組みに積極的に参加・協力します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をします</li> <li>・楽しく食事をするためのマナーを教えます</li> <li>・野菜の栽培や料理などの体験をさせます</li> </ul>
	②	<p>&lt;妊娠期&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期の食事について理解し、栄養のバランスを考え規則正しく食べます</li> <li>・適切な時期に妊婦健診を受けます</li> </ul> <p>&lt;乳幼児期&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「早ね・早起き・朝ごはん」の習慣をつけます</li> <li>・栄養のバランスを考えた食事をとります(主食、主菜、副菜を揃えます)</li> <li>・おやつは決まった時間に、望ましい内容・量をとるようにします</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「早ね・早起き・朝ごはん」を推進します</li> <li>・食べ物と体の関係について楽しく学ぶ機会を作ります</li> <li>・給食日より、園日よりなどで食育についての情報を発信します</li> </ul>
	③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でとれる食材や、郷土料理などについて子ども達に伝えます</li> <li>・お手伝いなどの体験をとおして、食への興味を引き出します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の食材や、行事食について学ぶ機会を作ります</li> <li>・祖父母参観などで、食育講話を実施します(子ども達へ昔からの食事のよさ等を伝えてほしいことなどをお願いします)</li> </ul>
学童期・思春期	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をします</li> <li>・基本的な食事のマナーを身につけます</li> <li>・食事の時は、テレビを消して家族みんなで食卓を囲み会話を楽しみます</li> <li>・町や学校の取組みに積極的に参加・協力します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をする</li> <li>・楽しく食事をするためのマナーを教えます</li> <li>・農漁業体験や料理などの体験をさせます</li> </ul>
	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「早ね・早起き・朝ごはん」の習慣をつけます</li> <li>・栄養のバランスを考えた食事をとります(主食、主菜、副菜を揃えます)</li> <li>・簡単な食事を用意できるようにします</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「早ね・早起き・朝ごはん」推奨運動による、規則正しい食生活を推進します</li> <li>・食事バランスの指導等、学校給食を活用した食育の推進を図ります</li> <li>・給食試食会を開催します</li> <li>・給食日よりなどで食についての情報を家庭へ発信します</li> <li>・自分に合った食事を自分で選ぶ力を身につかせます</li> <li>・おやこ食育教室を開催します(小学校)</li> <li>・スポーツ料理教室を開催します(中学校)</li> </ul>
	③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でとれる食材や、郷土料理などについて学びます</li> <li>・お手伝いなどの体験をとおして、食べ物を選ぶ力や料理をする力を身につけます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食にできるだけ地元産の食材を取り入れます</li> <li>・学校給食に郷土メニューを取り入れます</li> <li>・郷土料理教室を開催します(中学校)</li> </ul>
青年期・壮年期	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族団らんの食事や仲間との食事を心がけます</li> <li>・食事の時は、テレビを消して家族みんなで食卓を囲み会話を楽しみます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭、地域に対して、食育の大切さや必要性について普及啓発します</li> </ul>
	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3食きちんと食べます</li> <li>・適切なエネルギー量を知りバランスのとれた食生活を心がけます</li> <li>・薄味に心がけます</li> </ul>	
	③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ地元の食材を使うようにし、地産地消に取り組みます</li> <li>・昔から伝わる食文化や、郷土料理などを次世代に伝えます</li> </ul>	
高齢期	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族団らんの食事や仲間との食事を心がけます</li> <li>・食事の時は、テレビを消して家族みんなで食卓を囲み会話を楽しみます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭、地域に対して、食育の大切さや必要性について普及啓発します</li> </ul>
	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3食きちんと食べます</li> <li>・バランス良く何でも食べて低栄養を予防します</li> </ul>	
	③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ地元の食材を使うようにし、地産地消に取り組みます</li> <li>・昔から伝わる食文化や、郷土料理などを次世代に伝えます</li> </ul>	

② 心と体の健康を育むため、健全な食生活を実践します

③ 豊かな食の恵や食文化を知り、地産地消に取り組みます

地域(食改、生産者、JA、JF、直売所、商工会など)の取組み	行政の取組み
<p>&lt;生産者、JAなど&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業体験の場を提供します</li> </ul>	<p>&lt;保健福祉課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育月間、食育の日の啓発をします</li> <li>・乳幼児健診時にあいさつやマナーについても伝えます</li> <li>・保育園等を通じて保護者へ食育について伝える機会を作ります</li> </ul> <p>&lt;保健福祉課・産業課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体と連携し、農漁業体験の機会を作ります</li> </ul>
<p>&lt;食生活改善推進協議会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児サークル等での食育を推進します</li> <li>・幼児食育教室を実施します</li> </ul>	<p>&lt;保健福祉課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子健康手帳交付時に、妊娠期の食事についてパンフレットを配布し、説明します</li> <li>・乳幼児健診での栄養相談をおこないます(2か月児相談、乳児健診、1歳児歯科検診、1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科検診、3歳6か月児健診)</li> <li>・ゆめてらすでの離乳食・幼児食相談を行います</li> </ul>
<p>&lt;JA、JF、直売所、商工会など&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントなどで地元の食材について学ぶ機会を作ります</li> </ul>	<p>&lt;保健福祉課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の食材を使用した料理や郷土料理についての情報の発信や、調理実習の機会を作ります</li> </ul> <p>&lt;保健福祉課・産業課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体と連携し、農漁業体験の機会を作ります</li> </ul>
<p>&lt;生産者、JA、JFなど&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農漁業体験の機会を作ります</li> <li>・農漁業体験の場を提供します</li> </ul>	<p>&lt;保健福祉課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育月間、食育の日の啓発をします</li> <li>・広報等を通じて、食育の大切さを伝えます</li> </ul> <p>&lt;学校教育課・産業課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農漁業体験教室を実施します</li> </ul>
<p>&lt;食生活改善推進協議会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おやこ食育教室を実施します</li> </ul>	<p>&lt;保健福祉課・学校教育課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おやこ食育教室を開催します</li> <li>・学校を通じて保護者へ食や健康について伝える機会を作ります</li> </ul> <p>&lt;学校教育課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「弁当の日」を設定します</li> <li>・スポーツ料理教室を実施します</li> </ul>
<p>&lt;JA、JF、直売所、商工会など&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントなどで地元の食材について学ぶ機会を作ります</li> <li>・郷土料理教室などを実施します</li> </ul>	<p>&lt;学校教育課・産業課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農漁業体験教室を実施します</li> </ul> <p>&lt;学校教育課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土料理教室を実施します</li> </ul>
<p>&lt;JA、JF、直売所、商工会など&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農水畜産物の販売を通して消費者と生産者の交流や情報交換を推進します</li> </ul>	<p>&lt;保健福祉課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育月間、食育の日の啓発をします</li> <li>・広報等を通じて、食育の大切さを伝えます</li> </ul>
<p>&lt;食生活改善推進協議会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区伝達講習会などを通して、食の正しい情報提供をします</li> <li>・男性料理教室を開催します</li> </ul> <p>&lt;JA、JF、直売所、商工会など&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食を通じた健康づくりを推進します</li> </ul>	<p>&lt;保健福祉課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり教室を開催します</li> <li>・食生活改善推進員の活動を支援します</li> <li>・栄養改善や口腔機能の向上に関する講習会を推進します</li> <li>・広報に健康情報や、健康レシピを掲載します</li> </ul>
<p>&lt;生産者、JA、JF、直売所、商工会など&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新鮮で安全な食材を提供します</li> <li>・地場産物の活用方法などの情報提供や講習会などを実施します</li> <li>・特産品づくりや郷土料理の伝承、継承を推進します</li> </ul>	<p>&lt;保健福祉課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産物の活用方法などの情報提供や講習会などを実施します</li> <li>・郷土料理の伝承、継承を支援します</li> </ul> <p>&lt;産業課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産食材のPR活動を推進します</li> <li>・地場産品を生かした6次産品の開発を支援します</li> </ul>
<p>&lt;JA、JF、直売所、商工会など&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農水畜産物の販売を通して消費者と生産者の交流や情報交換を推進します</li> </ul>	<p>&lt;保健福祉課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育月間、食育の日の啓発をします</li> <li>・広報等を通じて、食育の大切さを伝えます</li> </ul>
<p>&lt;食生活改善推進協議会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区伝達講習会などを通して、食の正しい情報提供をします</li> <li>・男性料理教室を開催します</li> <li>・高齢者への食育活動を推進します</li> </ul> <p>&lt;JA、JF、直売所、商工会など&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食を通じた健康づくりを推進します</li> </ul>	<p>&lt;保健福祉課・長寿社会課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり教室を開催します</li> <li>・食生活改善推進員の活動を支援します</li> <li>・出前講座等に積極的に出向きます</li> <li>・必要な人への配食サービスの支援や簡単料理を普及させます</li> <li>・広報に健康情報や、健康レシピを掲載します</li> </ul>
<p>&lt;生産者、JA、JF、直売所、商工会など&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新鮮で安全な食材を提供します</li> <li>・地場産物の活用方法などの情報提供や講習会などを実施します</li> <li>・特産品づくりや郷土料理の伝承、継承を推進します</li> </ul>	<p>&lt;保健福祉課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産物の活用方法などの情報提供や講習会などを実施します</li> <li>・郷土料理の伝承、継承を支援します</li> </ul> <p>&lt;産業課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産食材のPR活動を推進します</li> <li>・地場産品を生かした6次産品の開発を支援します</li> </ul>

#### 4 計画指標の現状値と目標値

基本目標	項目	現状値 (H26年度)	目標値 (H32年度)	根拠	担当課
①自然との関わりをもち、恵みに感謝し命と食べ物を大切にします	毎食「いただきます」・「ごちそうさま」のあいさつをする園児の割合	64%	80%	町実施のアンケート	保健福祉課
	大人と一緒に夕食を食べる児童の割合	89%	95%	白石町食に関するアンケート	学校教育課
	大人と一緒に夕食を食べる生徒(中学生)の割合	85%	90%	白石町食に関するアンケート	学校教育課
②心と体の健康を育むため、健全な食生活を実践します	朝食を毎日食べている園児の割合	93%	95%	町実施のアンケート	保健福祉課
	朝食を毎日食べている児童の割合	93%	95%	白石町食に関するアンケート	学校教育課
	朝食を毎日食べている生徒(中学生)の割合	93%	95%	白石町食に関するアンケート	学校教育課
	朝食を毎日食べている成人の割合	79%	85%	町実施のアンケート	保健福祉課
	朝食内容が主食のみ、飲み物だけの園児の割合	17%	10%	町実施のアンケート	保健福祉課
	朝食内容が主食のみ、飲み物だけの児童の割合	20%	10%	白石町食に関するアンケート	学校教育課
	朝食内容が主食のみ、飲み物だけの生徒(中学生)の割合	17%	10%	白石町食に関するアンケート	学校教育課
	健康を意識した食生活を送っている成人の割合	72%	80%	町実施のアンケート	保健福祉課
毎食、主食・主菜・副菜を揃えた食事をしている成人の割合	37%	50%	町実施のアンケート	保健福祉課	
③豊かな食の恵や食文化を知り、地産地消に取り組みます	学校給食における地元産(県産食材数)の使用割合	49.7%	55%	学校給食に使用する県産食材調べ	学校教育課
	地場産物をとるように心がけている成人の割合	78%	85%	白石町食に関するアンケート	保健福祉課 ・産業課
	農漁業体験を行っている小中学校の数	10校 (11校中)	全校	食育の取組みの報告	学校教育課 ・産業課

# 付属資料

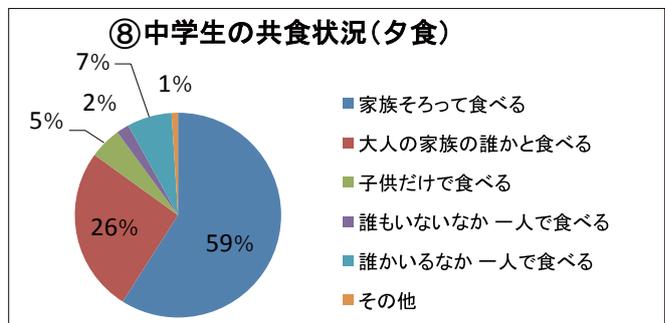
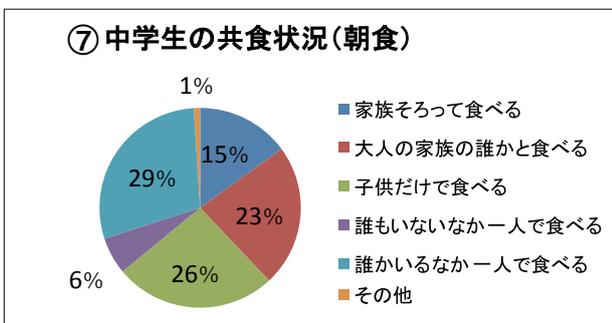
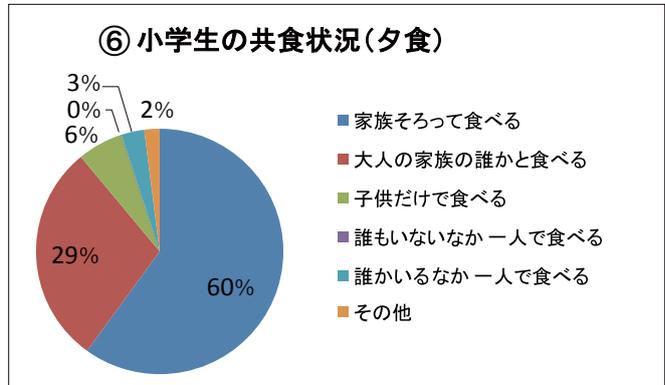
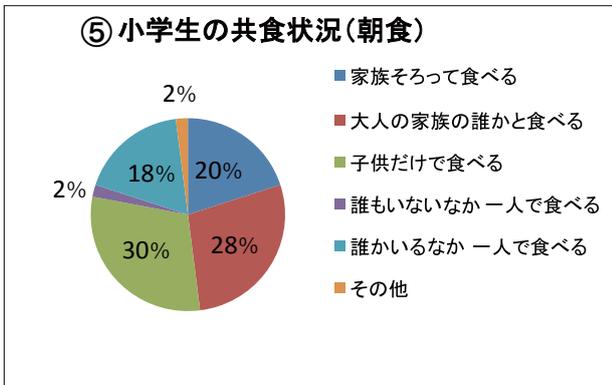
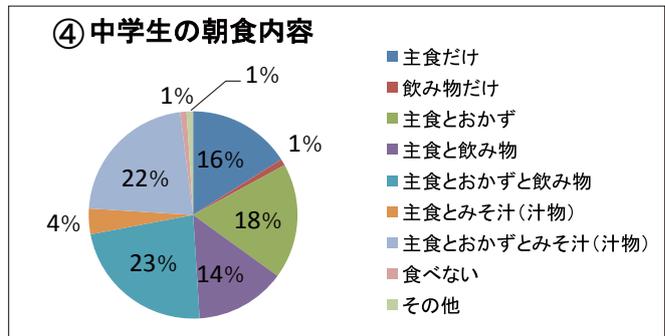
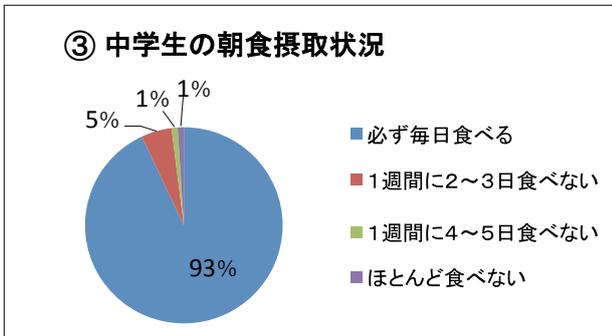
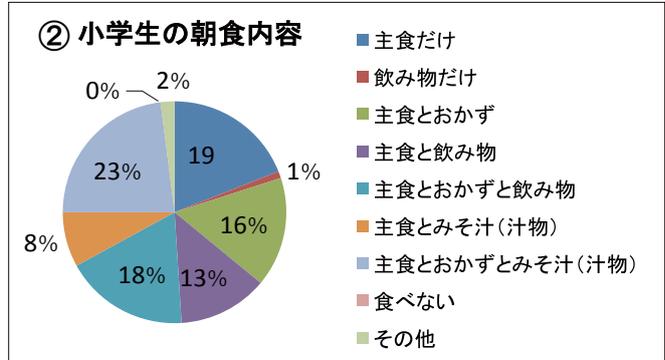
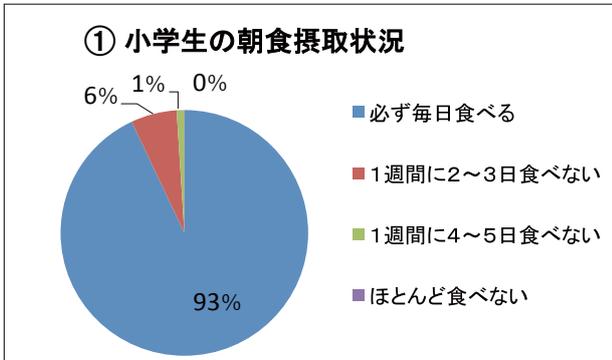


# 「白石町食に関するアンケート」結果より(町内小学生・中学生)

実施時期:平成26年7月

対象者:町内8小学校4～6年生・町内3中学校1～3年生

回答者:小学生627名・中学生648名



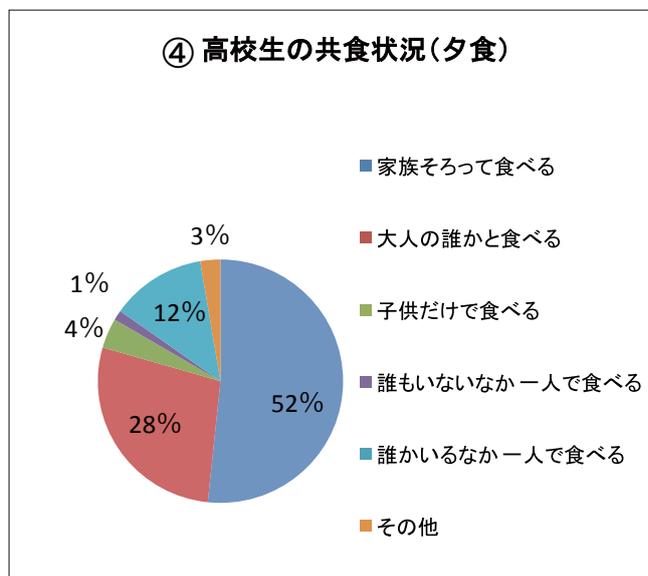
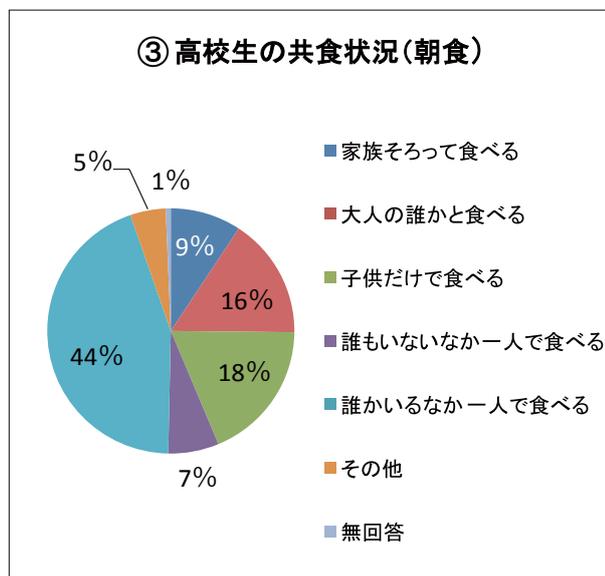
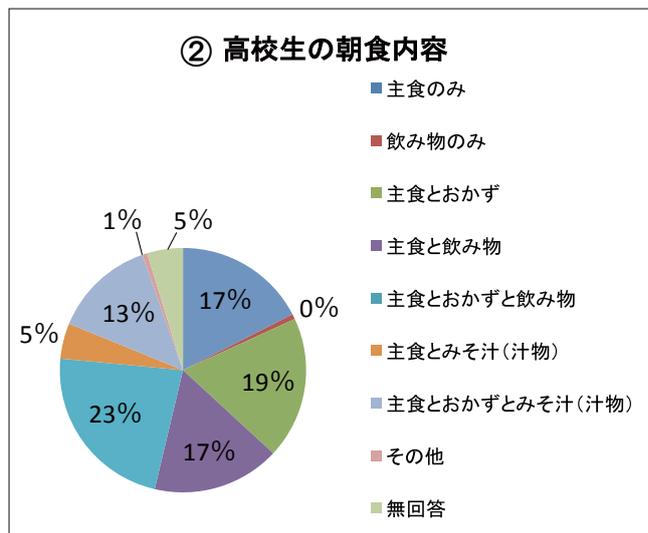
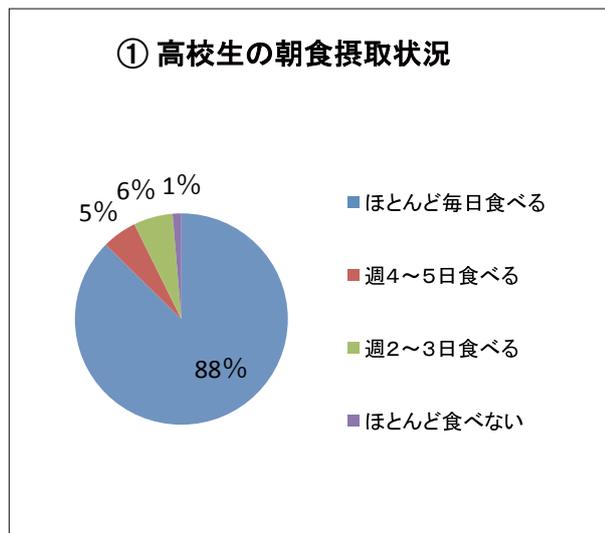
・朝食を毎日食べる人は、小学生、中学生とも9割を超えています。朝食内容は主食だけ、飲み物だけ、主食と飲み物だけなどの簡単な食事ですませている人が目立ちます。

・小中学生においても、朝食での共食の機会は少ないようです。また、中学生の方がより、一人で食事をすることが多いようです。

# 白石町食育推進計画策定に係るアンケート集計結果

## 「白石町食育推進計画策定に係る意識調査」(町内高校生)

実施時期:平成26年7月  
 対象者:町内1高校の1年生  
 回答者:151名



・朝食を毎日食べる高校生は、88%ですが朝食内容については、主食のみ、主食と飲み物といった簡単な食事内容ですませている生徒が34%です。  
 ・共食状況については、朝食は約半数の生徒が一人で食べている状況です。夕食は80%が大人と一緒に食べていますが、1割を超える生徒は一人で食べている状況です。

## 「白石町食育推進計画策定に係る意識調査」(町内在住成人)

実施時期:平成26年7月

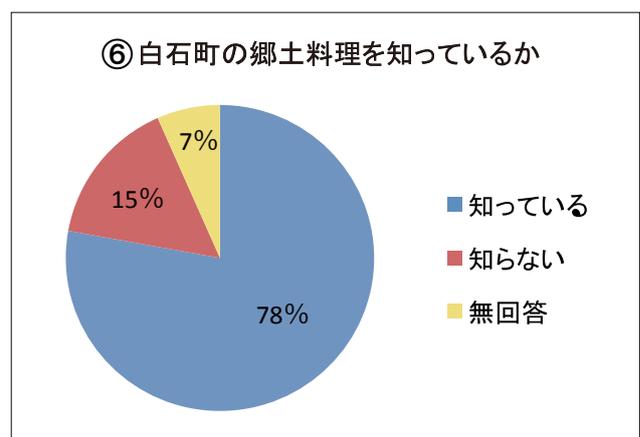
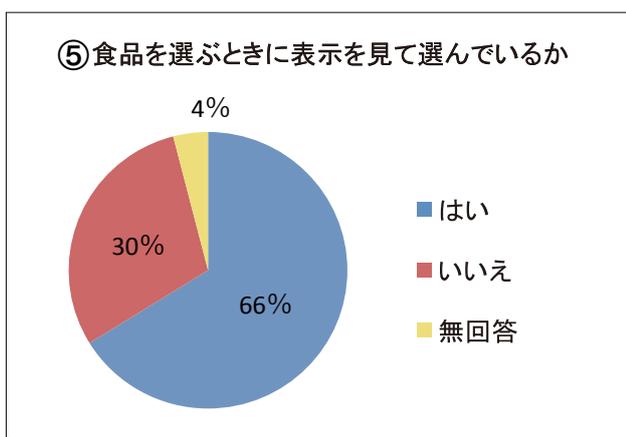
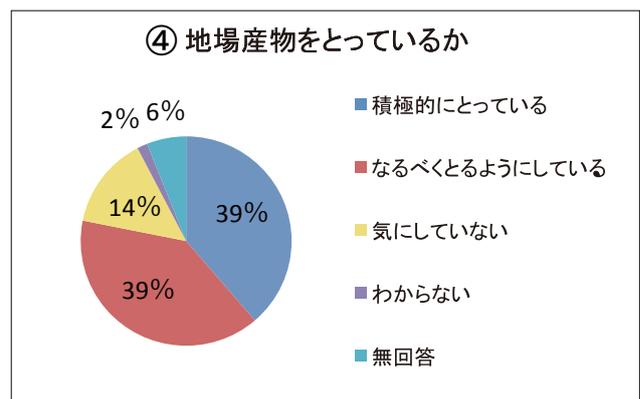
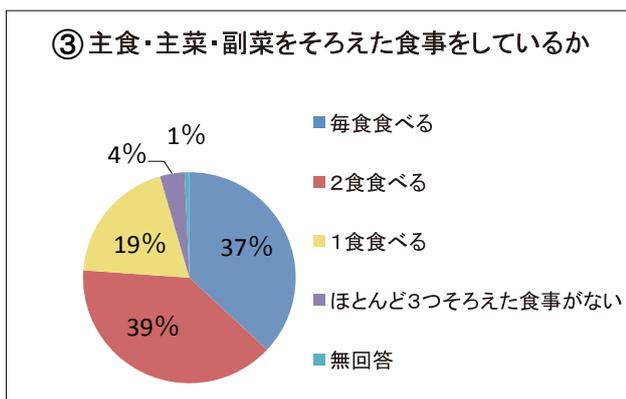
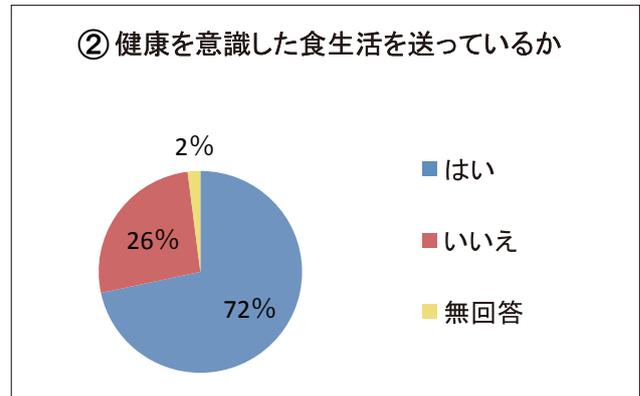
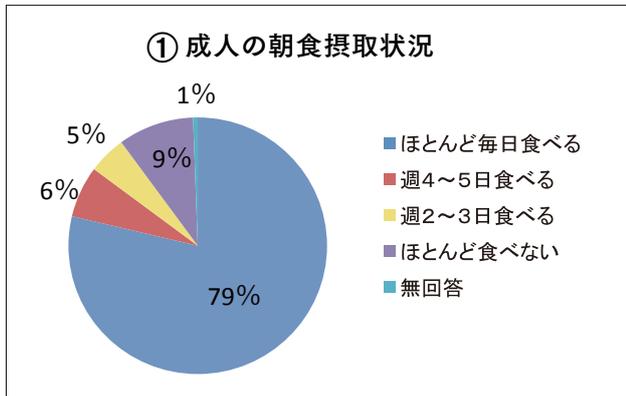
対象者:町内保育園・幼稚園年中児保護者

町内1中学校1年生保護者

役場職員(町内在住者)

一般住民(食生活改善推進員回収分)

回答者:695名



・成人の朝食摂取状況は毎日食べる人が約8割ですが、約1割の人はほとんど食べていません。  
 ・健康を意識した食生活を送っていますが、主食・主菜・副菜を揃えた食事を毎食食べている人は4割にも達していません。  
 ・地場産物を、積極的又はなるべくとるようにしている人、白石町の郷土料理を知っている人はともに約8割となっています。

## 計画策定までの経過

開催月日	内 容
平成26年5月20日	食育担当係会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次白石町食育推進計画スケジュールについて</li> <li>・食育推進会議委員と検討部会委員について</li> <li>・食育アンケート調査について</li> </ul>
平成26年6月19日	白石町食育推進会議 検討部会(第1回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1次白石町食育推進計画について</li> <li>・白石町食育推進計画策定のためのアンケート内容について</li> <li>・これまでの部員の各分野での取組みについて(意見交換)</li> </ul>
平成26年7月	アンケート調査
平成26年9月12日	白石町食育推進会議 検討部会(第2回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1次白石町食育推進計画の推進状況について アンケート結果から現状と課題</li> <li>・第2次白石町食育推進計画(案)について 計画の期間と方向性</li> </ul>
平成26年9月24日	白石町食育推進会議 (第1回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・白石町食育推進会議委員を委嘱</li> <li>・第1次白石町食育推進計画の取組みについて</li> <li>・食育のアンケート調査の結果について(現状と課題)</li> <li>・第2次白石町食育推進計画(案)について</li> </ul>
平成26年10月21日	白石町食育推進会議 検討部会(第3回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次白石町食育推進計画(案)について</li> </ul>
平成26年11月10日	白石町食育推進会議 検討部会(第4回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次白石町食育推進計画(案)について</li> </ul>
平成26年11月26日	白石町食育推進会議 (第2回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次白石町食育推進計画(案)について</li> </ul>
平成27年1月20日	白石町食育推進会議 検討部会(第5回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次白石町食育推進計画(案)について</li> </ul>
平成27年2月3日	白石町食育推進会議 (第3回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次白石町食育推進計画(案)について</li> </ul>

## 白石町食育推進会議委員名簿

区 分	所 属 等	氏 名
学識経験者	ふるさと先生	猪ノ口 操
	地域活動栄養士	江口 智子
保健福祉関係	白石町食生活改善推進協議会	一ノ瀬 隆子
	白石町健康づくり推進協議会	内野 さよ子
教育関係	有明東小学校校長	藤井 裕明
	町内保育園長代表	中村 絹江
農林水産商工関係	JAさが白石地区中央支所	土井 隆
	白石町商工会	竹下 恭美
	白石町水産振興連絡協議会	友田 正和
町民の代表	白石町直売所連絡協議会	生島 義明
	白石青年実業会	鶴田 孝
	白石町立小中学校PTA代表	石隈 あつみ
行政機関	杵藤保健福祉事務所	上松 初美
	杵藤農林事務所	前田 浩二
	白石町副町長	杉原 忍
	白石町教育委員会教育長	江口 武好
	白石町産業課長	赤坂 隆義

食で育む心豊かな町 “しろいし”



第2次白石町食育推進計画

佐賀県白石町

〒849-1192

佐賀県杵島郡白石町大字福田1247番地1

TEL 0952-84-2111 (代表)

FAX 0954-84-6611

URL <http://www.town.shiroishi.lg.jp/>